

# 中日本ネットワーク

東海・信越・北陸

JAPAN METAL BULLETIN  
Local Network

北信越支局

NIGATA

〒950-0088  
新潟市中央区万代四丁目2番23号  
オフィス万代301  
TEL (025) 244-7600 FAX (025) 244-7601

## 17年度の新潟県経営品質賞

# 日鉄住金工材が「知事賞」

【新潟】ステンレス・チタン・特殊合金を加工販売する日鉄住金工材(本社■新潟県上越市、石川昌弘社長)はこのほど、2017年度の新潟県経営品質

賞の「知事賞」を受賞した。最高賞である知事賞が授与されたのは13年ぶり。同賞は県内企業が競争力のある経営構造へ質的転換を図るため、顧客視点から経営全体

を運営し、自己革新を通じて新しい価値を創出し続けることのできる「卓越した経営の仕組み」を有する企業の表彰を目的として1999年に創設された。日鉄住金工材では、



表彰を受けた石川社長Ⓞ

社員の幸せに着目した組織活性化と主要顧客の要望を具現化する製品開発という、社員の幸せと顧客満足度を同時に追求した点が評価された。石川社長は、「会社が未来に向けて成長し続けるために経営改革に取り組んだ。特に社員の幸せ、顧客満足、生産性の向上を同時に実現する働き方イクルの実践を話した。挑戦と成長を合言

葉にここまで来たが、理想の姿までは道半ばだ」と話した。日鉄住金工材のほか、結婚式場の迎賓館 TOKIWAと、学校法人新潟青陵学園が運営する新潟青陵高校が最高賞に次ぐ「とき賞」を受賞。TOKIWAは全員参加の経営の仕組みづくり、新潟青陵高校は独自の教育メニュー開発などが評価された。

平成30年(2018年)5月8日(火曜日)

日鉄住金工材(本社・上越市、社長・石川昌弘氏)は4月26日、新潟県庁で行われた新潟県経営品質賞表彰式で最高位の知事賞を受賞した。知事賞の受賞は13年ぶり。新潟県経営品質賞は県内企業が競争力のある経営構造へ質的転換を図るために1999年に創設された。受賞理由は「社員の幸せ」に着目した組織活性化、顧客の要望を具現化する製品開発、目的を明確にした組織能力、個人能力向上の取り組みなど。15年のとき賞に続く快挙。迎賓館TOKIWA、学校法人青陵学園青陵高校が今回とき賞を受賞した。

## 日鉄住金工材

石川社長はスピーチで「高品質のものづくりに最前線を取り組んでいる社員にとって大変名

# 新潟県経営品質賞で「知事賞」受賞

誉な事。受賞はパートナー企業、地域の皆様のご協力と、県のご指導のおかげ。社員の幸せ・顧客満足・生産性の向上を同時に実現する『かがやきサイクル』を実践し、組織能力向上と人材育成に注力してきた事が働き方・生き方改革につながり、社員

満足度と顧客満足度が大きく向上した」と挨拶した。

グッドジョブ活動、サンクスカード等の取り組みや技術力向上と指導力を育むファロス(ギリシャ語で灯台)制度、社員の生き方を応援する幸せ円グラフ、ドリームコンパなどの施策が評価された。



石川社長(中央)、玉巻取締役(左)

具体的効果にも触れ「有給休暇は平均17・8日で取得率は約90%(ハッピー休暇などの活用)、男性の育児休業取得は100%を達成した。今春から母材と溶接部の見極めが困難な『次世代ドラム』を出荷している」。

「経営品質活動をさらに向上させ、職場、各人が理想の姿に挑戦していく。ブランド戦略を展開し、新潟発の製品を世界中に広めていきたい」と抱負を語った。

## 日鉄住金工材(上越)に知事賞

県経営品質賞 13年ぶり最高賞



県経営品質賞の知事賞を授与された日鉄住金工材の石川昌弘社長（左）＝26日、県庁

県内企業の経営姿勢を審査、評価する県経営品質賞委員会が26日、金属製品製造販売の日鉄住金工材(上越市)に2017年度の「知事賞」を贈った。最高賞である知事賞授与は04年度以来13年ぶり。

日鉄住金工材は、社員の幸せと顧客満足度、生産性向上を同時に追求。15年度に、最高賞に次ぐ「とき賞」を受けた後も取り組みを進め、経営が卓越した水準に達していると認定された。ほかに今年も、結婚式場の迎賓館TOKIWA(新潟市中央区)と、学校法人新潟青陵学園が運営する新潟青陵高校(同)にとき賞が贈られた。それぞれ16年度に受けた奨励賞よりレベルを上げた。TOKIWAは役職員が全員参加する経

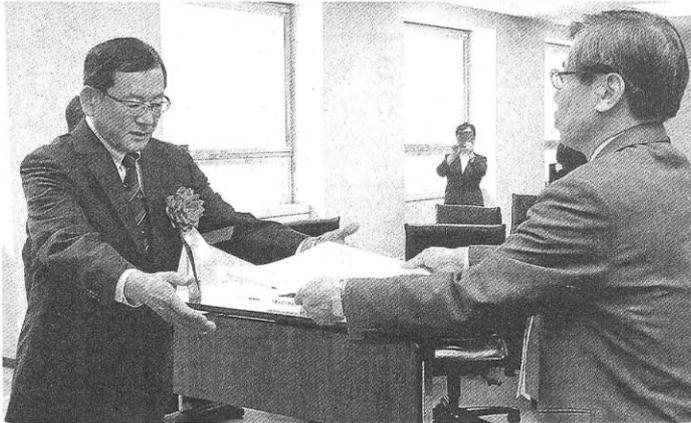
営の仕組みづくり、新潟青陵高は独自の教育メニュー開発などが評価された。

同日県庁で表彰式があり、日鉄住金工材の石川昌弘社長は「社員と顧客の満足度は向上したが、理想の姿までは道半ばだ」と述べた。TOKIWAの斎藤伸雄代表役員は「自社にしかできないことを命がけて磨いていく」と力を込め、新潟青陵高の羽田春喜校長は「面倒見のよい教育の実現へ工夫を続ける」と語った。

(5)

2018年(平成30年) 4月27日(金曜日)

高井副知事(右)から最高賞の表彰状を受け取った石川社長



## 新潟県経営品質賞

日鉄住金工材(上越市)

13年ぶりの知事賞に

県経営品質協

経営品質向上プログラムを実践する県内企業で組織した新潟県経営品質協議会は26日、県庁で平成29年度の新潟県経営品質表彰式を開いた。上越地域から、ステンレスなど各種金属製品の製造・販売を手掛ける日鉄住金工材(上越市川原町、石川昌弘社長)が最高賞の知事賞に輝き、知事職務代理者の高井盛雄副知事から表彰状が贈られた。

同プログラムは①顧客の4点を志向し、「卓上」11年度に創設され、申請に際して同プログラムに基づき審査される。知事賞は1000点満点中500点以上の優秀な企業のみ贈られ、今回は13年ぶり6社目となった。

同社は社員幸せ、顧客満足、生産性の向上を同時に実現するための「かがやきサイクル」を進め、顧客との対話による信頼関係の構築、組織能

力向上と人材育成を通じて最高級製品の提供に注力。審査においても高く評価された。同27年度には知事賞に次ぐ「とき賞」を受賞している。

あいさつに立った石川社長は4年前から経営品質向上に取り組んだことで、売上高利益率12%を達成しながら社員の有給休暇取得率30%を表現。「社員が元気で会社の業績も上がった」と紹介した。その上で受賞を喜びつつ「理想の姿への道はまだ半ば。自律的に各人・職場がより高い目標に挑戦し、世界中に新潟で作った製品をブランドとして広めた」と力を込めた。

高井副知事は経営環境が刻々と変化する中、積極的に変革に取り組む姿勢をたたえ「今後もさらなる研さんに努め、他の企業、組織の模範として活躍いただきたい」と願った。

た。上越地域では同11年度に岩の原葡萄園(上越市)、同14年度にエム・アイ・ディージャパン(同)がそれぞれ奨励賞を受賞している。